

## ありがとう・ごめんなさい

以前勤めていた小学校での出来事です。学区内にお住まいの方から一本の電話が入りました。内容は「車で細い道から大通りに出るため止まっていたら、低学年の女の子が車の前を通り過ぎるときに丁寧におじぎをして『ありがとうございます』と言ってくれた。その姿にとても感動した」というものでした。その話を聞いた私も感動しました。まず、その女の子は保護者や周りの大人から「人として大切なこと」をしっかりと教えてもらい、身に付けているのだと感動しました。次に、子供のよい行いを丁寧に学校に伝えてくださる地域の方の心の温かさに感動しました。

生徒たちには、親切にしてもらったら「ありがとう」、間違っことをしたら「ごめんなさい」、この2つの言葉が素直に言える人間になってほしいと心から願います。これからの長い人生、陽の当たる道を胸を張って堂々と歩いて行くためには、絶対に必要なことです。また、そのように教え諭すことが大人の責任だと考えます。

令和5年も残りわずかとなりました。おかげをもちまして、今年は新型コロナやインフルエンザの影響を最小限にとどめ、様々な教育活動を行うことができました。生徒たちは学習や行事、部活動にそれぞれの目標をもってがんばることにより、確実に成長していると感じます。保護者の皆様もお子様のがんばりを褒めていただきたいと思います。それでは、良いお年をお迎えください。

### 地域の行事で活躍しました



11月11・12日に開催された「那珂湊コミュニティ祭り」において、湊中生の活躍が見られました。9日には野球部員が会場準備（展示パネル等の運搬）のボランティアに汗を流していました。また、12日には、吹奏楽部が発表の部でトップバッターとして会場の雰囲気を盛り上げました。



### 専門家から学びました



11月17日に「租税教室」が開かれ、3年生が税理士の方から税の種類やそれらの使い道などの様々な話題について説明を受けました。また、24日には「がん教育講演会」が開かれ、2年生が日製ひたちなか総合病院の医師から、がんの特徴や予防法、さらに検診の重要性について学びました。校外の専門家から直接話を聞く機会に恵まれ、普段教室ではできない多様な学びが実現しました。

### 駅伝部・吹奏楽部も活躍しました

特設部である「駅伝部(男)」が中央地区大会で勝ち残り、県大会に出場し、65校中31位と健闘しました。また、吹奏楽部はアンサンブルコンテスト(中央地区)に出場し、会場いっばいに素晴らしい音色を響かせました。